

塩気を取り戻す

シリーズ～さよならキリスト教～

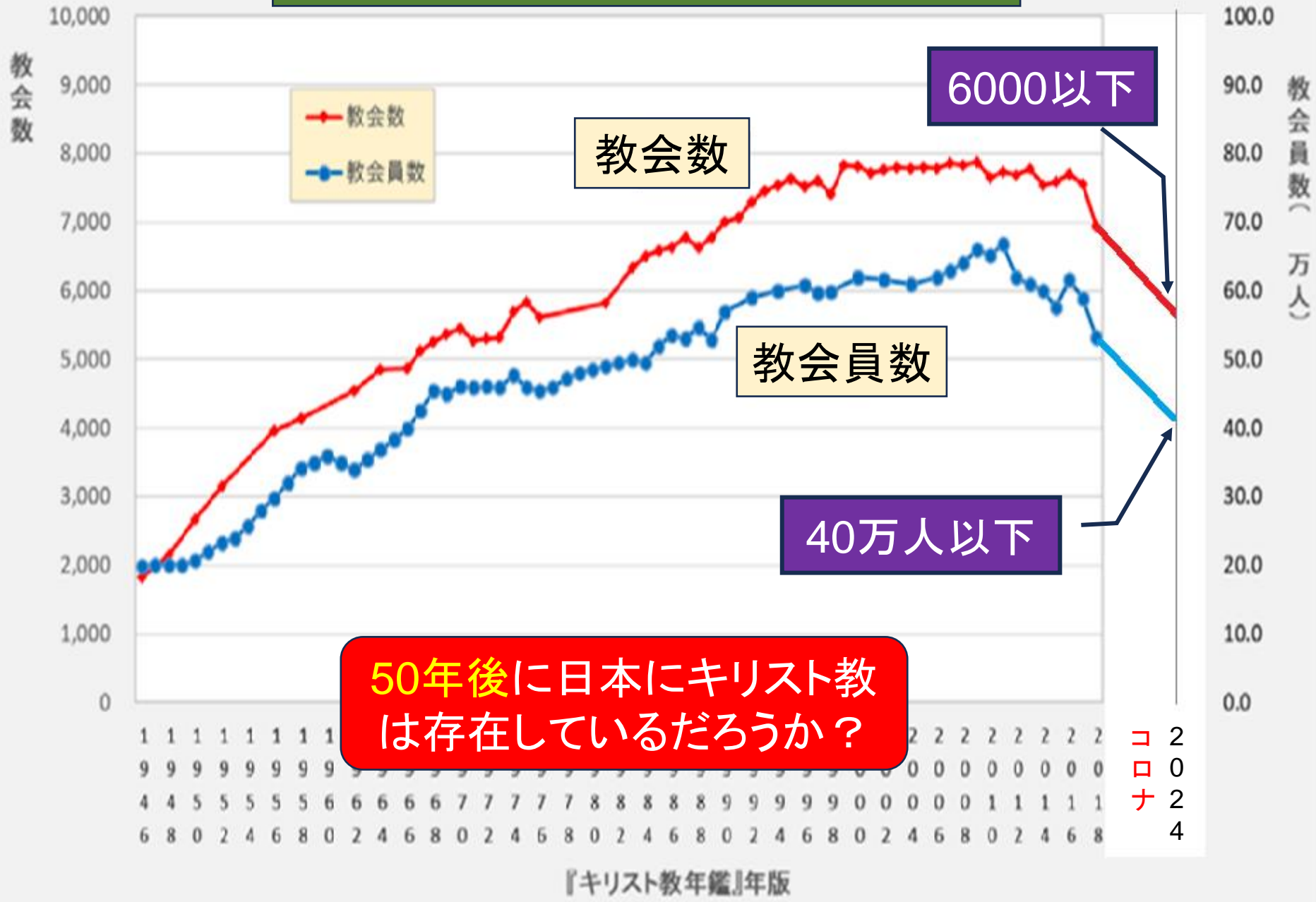
2024/9/1

今日のみことば

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。

マタイ福音書5章13節

プロテスタント教会の教勢の推移



コ 2
 □ 0
 ナ 2
 4

役立たずのキリスト教

- 戦後順調に成長したが、今や衰退の一途
 - 2000年頃までは成長した
 - 2010年頃から減少し、コロナ禍が大ダメージ
- この国からなくなろうとしている
 - 「もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。」
- この国の役に立っていないキリスト教
 - 「失われた30年」(1990～2020年)とともに衰退してしまった
 - 少子高齢化・世界一の借金国・格差社会・将来不安

クリスチャンはこの世に不可欠

- 「地の塩」でなければならないクリスチャン
 - 地(この世)にとって不可欠な存在
- 塩について
 - 塩の成分(ナトリウムと塩素)は人間の体にとって必須のミネラルで有り、他のもので補給することはできない(摂り過ぎは良くないが…)
- 本来、塩が塩気を失うことはないが…
 - 「だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。」
 - **クリスチャンが役割を果たさなければこの世は死んでしまう！**

塩気を失ったクリスチャンとは？

- クリスチャンであることを隠している
 - 知られると恥ずかしい、「クリスチャンのくせに」と言われたくない
- クリスチャン以外の人とあまり関わらない
 - ノンクリスチャンの人との関わりを避ける
- クリスチャンらしく生きていない
 - この世の人たちと大した違いがない

塩に塩気がなくなれば、...
もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、
人々に踏みつけられるだけである

「塩気」を取り戻すには

- **山上の垂訓**は「**塩味クリスチャン**」の教科書
 - 仲良くする ー 対立する
 - 姦淫しない ー 性的関係のルールがない
 - 軽々しく誓わない ー 神を畏れない
 - 復讐しない ー 復讐したければする
 - 敵を愛す ー 敵を憎む
 - 良い行いは隠れてする ー 良い行いを知らせる
 - 天に富を積む ー 地上に富を積む
 - 思い悩まない ー 思い悩んでいる
 - 人を裁かない ー 非難し合う(クレーム社会)

塩が必要な時が来る

•衰えていく国

- 少子高齢化は益々進み、人口減少が加速する

•衰えていく経済

- ゼロ成長からマイナス成長へ
- 社会保障制度の破綻
- 人々の不安は益々増大する

•塩が効力を発揮する！

- 日本人は絶対的な真理を持っていない
- 日本人は永遠の命の希望を持っていない
- 日本人は神の愛を知らない

「塩」としての教会

•この国が失ったもの＝共同体

- 農業国で会った頃は農村、工業国であった頃（高度成長期）は会社が共同体だった
- 今はどんどんなくなっている

•共同体としての教会

- おなじ信仰（信念）を持っている
- 恐らく死ぬまでほぼ毎週顔を合わせる
- 互いにケアし合う関係性
- 「キリストの体」としてそれぞれが役割を担い、1つの目標に向かっていく

塩気を取り戻す！

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。

マタイ福音書5章13節